



The Jimin NEWS

No.179 平成 28 年 3 月 16 日 Liberal Democratic Party of Japan

「野党統一候補」 = 「民共合作候補」

“野党統一候補”の実態は、民主党と共産党の合作候補で、理念も政策もバラバラ。
「理念なき民主党」と「革命勢力・共産党」の打算と選挙談合以外の何ものでもありません。

“理念”も“政策”もバラバラの数合わせ

政党とは、共通の理念の下で統一の政策を持つものの集団ですが、今回の“野党統一候補”は、理念も政策もバラバラな野党各党が候補者を寄せ集めて、“選挙の数合わせ”をする以外の何ものでもありません。

例えば、民主党は与党時代、消費税の引き上げを決めましたが、共産党は大反対。今後、消費税をどうしていくのか、見解が一致するはずがありません。

共産党の下、日米安保・自衛隊廃止へ

野党で一致している政策は、全く時代に逆行する非現実的な「安保法反対・廃止」の一点のみ。その先には、共産党が主張する「日米安保の破棄」「自衛隊の廃止」があるのです。

北朝鮮問題をはじめ、わが国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中で、自衛隊と日米安保なしに、どうやって日本の平和や国民のくらしを守ると言うのでしょうか。

安保法への理解が深まってきています。

Q：野党 5 党が安保法を廃止する法案を共同提出
廃止するべきだと思うか？（共同通信 2 月調査）

- ・ 廃止するべきではない 47.0%
- ・ 廃止するべき 38.1%

「究極の選挙談合」

本来なら、自らが所属する政党から堂々と出馬すべき候補者を、民共合作のもとに無所属にするだけでなく、他党の候補者を野党間の調整で取り下げるなど、まさに野党による国民不在の「究極の選挙談合」が行われています。

仮に当選しても、どの政党に所属するのか、国会での様々な法案への賛否はどうするのか、全く明らかにしていません。有権者に対して極めて不誠実です。

「自公の安定政権」か、 「民共合作の革新勢力」かの選択

今から 50 年前、チェコスロバキアでは、民主化を求めた「プラハの春」がソ連・共産主義によって「弾圧の夏」になってしまった悲惨な歴史があります。私たちが戦うのは、“ひ弱な野党”ではありません。相手はその裏で確実に勢力を拡大しつつある共産党なのです。

夏の参議院選挙では

「自公の安定政権」か「民共の革新勢力」か
国民の明確な選択を求めて行きます。

